

News Release

大型商業施設を管理する東急グループ3社合同で BC（事業継続）訓練を開催

東急ファシリティサービス株式会社（取締役社長 瀧名 節）は、2018年2月9日、本社にて、大型商業施設を管理する、東急セキュリティ、東急モールズデベロップメントと3社合同で、災害を疑似体験するなどのBC（事業継続）訓練を開催しました。

大規模災害時に事業を継続させることは企業にとって重要な問題です。「お客さまのためにできることは何か」「ショッピングセンターを核として地域に貢献できることはないか」などの課題を自ら問いかけ、3社が一体となって事業継続に向けた取り組みを本格化させました。

訓練は、実際に管理している大型商業施設を舞台とし、あらかじめ想定された問題に対してチームで対応にあたり、災害時に起こりうる事態を疑似体験することで、大規模災害時に対する心構えを持つことができました。またエレベーター閉じ込めを想定し、エレベーター保守メーカー指導のもと救出スキル習得のための講習も行うことで、より安心・安全である大型商業施設の管理を目指します。

（訓練の様子）



（エレベーター閉じ込め救出講習）



当社は今後も引き続き、施設をご利用されるお客さまの安心・安全を最優先に取り組むため、施設の事業継続および早期復旧に向けた、さまざまなBC活動を積極的に推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

東急ファシリティサービス株式会社 経営統括室 総務・BC推進部 BC推進課（担当：菅原）

TEL：03-6372-0112

FAX：03-6372-0145